

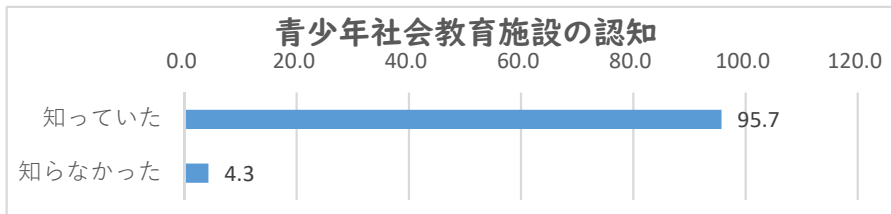
令和2年度 第11回県政モニターアンケート調査結果

社会教育課社会教育係(099-286-5339)

- テーマ 「県内の青少年社会教育施設」について
- 調査目的 青少年社会教育施設の活用方策作成の参考とする。
- 調査時期 令和2年11月
- 調査対象数 200人
- 回答者数 141人

問1 青少年社会教育施設(〇〇少年自然の家, 〇〇青年の家等)を知っていましたか。(選択)

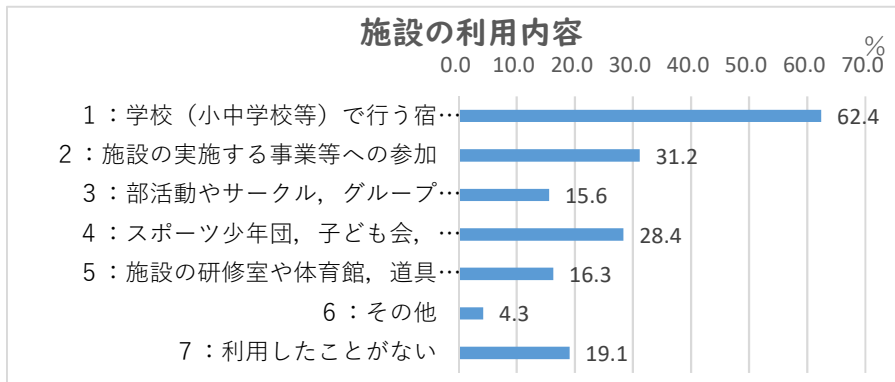
選択内容	回答数	割合
知っていた	135	95.7
知らなかった	6	4.3



問2 これまでにどのようなことで青少年社会教育施設を利用しましたか。(複数回答可)

(回答者141人に対する割合)

選択内容	回答数	割合
1: 学校(小中学校等)で行う宿泊学習	88	62.4
2: 施設の実施する事業等への参加	44	31.2
3: 部活動やサークル, グループで計画した活動での利用	22	15.6
4: スポーツ少年団, 子ども会, その他の団体活動での利用	40	28.4
5: 施設の研修室や体育館, 道具等の利用	23	16.3
6: その他	6	4.3
7: 利用したことがない	27	19.1

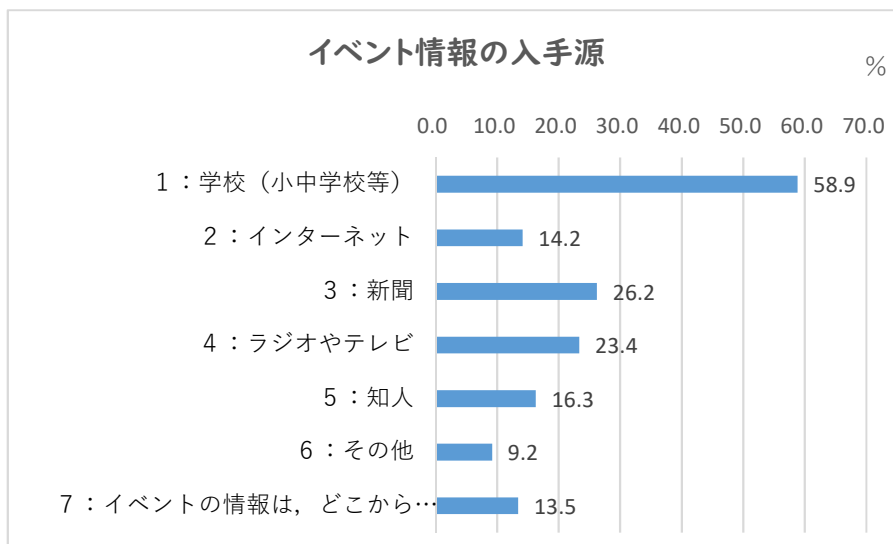


6: その他(自由記述)

- 病院の中間管理者研修
- 大学(教育学部)で実習として参加しました。
- 学校行事(遠足, 学年レク)
- 設立当時から県外に住んでおり, Uターンしたときは63歳でしたから使用は全くしていませんが, ここに存在していることは知っていました。
- 大隅少年自然の家にて洋食マナー
- 学生の頃にジュニアリーダーや子ども会活動で利用した。

問3 青少年社会教育施設のイベント等の情報はどこから得ましたか。(複数回答可)
(回答者141人に対する割合)

選択内容	回答数	割合
1:学校(小中学校等)	83	58.9
2:インターネット	20	14.2
3:新聞	37	26.2
4:ラジオやテレビ	33	23.4
5:知人	23	16.3
6:その他	13	9.2
7:イベントの情報は、どこからも得ていない	19	13.5



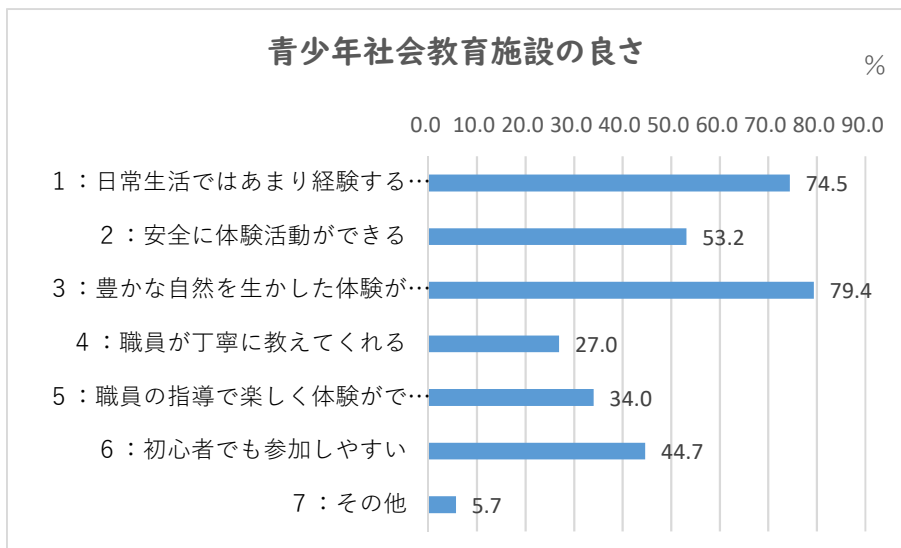
6:その他(自由記述)

- ちらし
- 市・県の広報誌
- 施設の管理部主催で、個人では情報を得ていない。
- 市のホームページ
- スーパーに貼られているチラシ、市の放送
- 施設発行の広報紙
- インターネットで調べられます。ただし、その利用状況はデータにないので、それを知りたいです。
- 社会教育課
- 会社
- 職場が青少年関係を担当するところなので、イベント等の情報はまめに知ることができる。

問4 青少年社会教育施設の良さはどんなところだと思いますか。(施設を知らない場合は、青少年社会教育施設と聞いてどんなところだと思いますか。)(複数回答可)

(回答者141人に対する割合)

選択内容	回答数	割合
1:日常生活ではあまり経験することのない体験活動ができる	105	74.5
2:安全に体験活動ができる	75	53.2
3:豊かな自然を生かした体験ができる	112	79.4
4:職員が丁寧に教えてくれる	38	27.0
5:職員の指導で楽しく体験ができる	48	34.0
6:初心者でも参加しやすい	63	44.7
7:その他	8	5.7



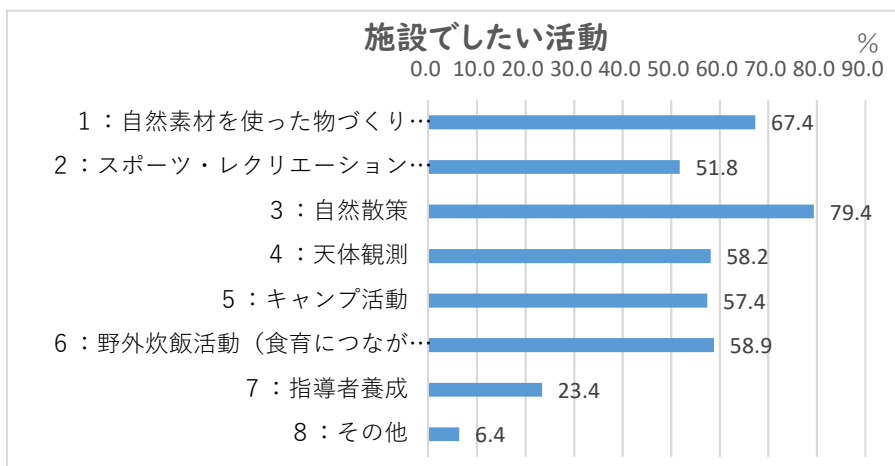
7:その他(自由記述)

- 若者限定の社会教育のネーミングに違和感あり、活動が広く知れわたっていないと思う。
- 同世代の人と交流ができる(イメージ)
- 利用したことはありませんが、多くの県民に利用してほしい。県、市、教育委員会がもう少しPRしてみんなが利用してほしい。
- 利用料が安い
- 県内小学校高学年に対して、体験できる場として、広く活用したほうがよいのでは。
- 安く泊まれる、使用できる。
- 他の参加している学校や人々と交流できる。

問5 青少年社会教育施設でどんな活動をしたいですか。(施設を知らない場合は、青少年社会教育施設を利用するとすれば、どんな活動がしたいですか。又はできたらよいと思いますか。)(複数回答可)

(回答者141人に対する割合)

選択内容	回答数	割合
1:自然素材を使った物づくり(創作活動)	95	67.4
2:スポーツ・レクリエーション活動	73	51.8
3:自然散策	112	79.4
4:天体観測	82	58.2
5:キャンプ活動	81	57.4
6:野外炊飯活動(食育につながる活動)	83	58.9
7:指導者養成	33	23.4
8:その他	9	6.4



8：その他（自由記述）

- 合同活動の後、合同宿泊、食事
- 身体障害者もバリアフリーで利用できるよう。
- 職業体験
- 青少年ばかりでなく老人も利用できる施設だと思うので、PRしてほしい。
- コンサート
- 学校での学びだけでなく、施設で道德教育に力を注いでほしい。
- 宿泊したり、調理をしたり、会議をしたり、使い勝手のよい公民館のように使いたい。
- 友達を作る（内気な子や元気な子で子供達の交流）

問6 青少年社会教育施設の利用促進に向け、今後どのようなことを期待しますか。（自由記述）

- ※主な記述を中心に抜粋
- 事業・イベント内容等に関するもの**
- 各施設の特徴を生かした講座（南薩（海がめ）、霧島（登山）、出水（鶴）等）
 - 平素学校や地域でできない教育、研修、スポーツ、自然観察等を各施設の立地条件を活かし、四季を通じて計画的に実施してほしい。
 - 今後、レジャーやスポーツ施設のように、みんなが気軽に楽しめる施設になってほしい。
 - 自然に親しみ、生きるすべを学んでほしい。
 - コロナでアウトドアが注目されています。キャンプの講座等（グランピングだともっとよいのですが）を行うと利用者も楽しめると思う。今まで同じような講座の繰り返してしたので...
 - 自然を活用した遊びを通じた学習がいいと思う。
 - イベントの充実（毎年同じ内容でなく、変化のある企画にしてもらい、一般市民でも指導補助ができるもの）、青少年育成のボランティア育成
 - 創作活動などのイベントに毎年参加しています。子どもたちも楽しみにしています。回数を増やしていただくと、もっとありがたいです。
 - 青少年社会教育施設は、自然もとても素晴らしいので、鹿児島市の環境未来館との協働を図り、活動の幅を広げてみる。
 - 自然を生かしたプログラムの作成、体験活動の促進、企業等も利用できる施設の継続
 - 家では体験できない天体観測など思い出に残る活動をしてほしい。
 - お互いに助け合う精神を学ぶとともに体験の中でいじめは絶対にしてはならないことを自覚する大切さ。

- 県内の各地域との交流活動だけでなく、他県との交流活動を通して、青少年のうちから、日本人に欠けている外交能力を養うプログラムを期待します。
- 様々な罪を犯す者をゼロにさせるための教育施設になることを期待します。
- 孫世代と町内会活動として関わる中、今後のリーダー育成も含めて、ワーク世代・子育て世代が共に教育施設のメニューを提案することが必要と思う。
- 県内各地域にあり、地域の実態に合わせた活動ができると思う。
- 自然の中で、多様な体験を通して、コミュニケーションの必要性、生きていくことの大切さを育てほしい。
- 今、子供から大人（60代）まで引きこもりの人が増えています。社会と共生できる強い人になっていただきたい。そのための教育・人作りをお願いしたいと思う。

情報発信・PRに関するもの

- 当初の目的、それに対してどんな課題があるのか、利用促進に向けてのPRが必要だと思う。
- 新聞・テレビなどの取材を受けるかたちでの情報発信（あくまでもマスコミからの取材で広告費0円で）
- 活動内容をもっと広く周知してもらうような工夫（例えばSNS利用など）
- 青少年社会教育施設は、青少年のイメージがあり、小・中学校等学校で使われるものと認識している人が多いと思う。県の番組や広報で施設の使われ方を告知して広めてもらえると活動に参加したくなる人が増えると思う。
- 利用方法や申し込み方法など分かりやすく情報発信してほしい。
- イベント等情報の周知
- 誰でも低価格で利用できるということを具体的に大きくPRしてください。今はソロキャンプやグランピングなど流行しているときなので、利用したい人は多いと思います。
- 素晴らしい施設だと思う。県民の利用率や費用対効果も考慮し、採算面もPRしてほしい。
- 活動パンフレットのようなものを作成して町中に設置して、たくさんの人の目に触れられるようにするなど、とにかく多くの人に知っていただくのがいいと思う。
- 名称のイメージから、利用者が学校関係者のみに限られているような印象があるので、広く一般の人に向けて気軽に利用できる施設であることをインターネット（youtubeを含む）やSNS等を通じて発信してほしい。
- イベントで施設の利用を促進したり、自治会に対しての研修などの呼びかけをしたりするなど、情報を発信することが大切だと思う。
- まずは、施設の存在を周知してほしい。
- 魅力的なイベントを仕掛け、魅力的な広報でアピールする。
- 市民に幅広く、どのように利用できるのかを分かりやすく周知することは必要で、利用したときに何かメリッ的な期待できるサービスがあればよいと思う。

利用者層の拡大に関するもの

- 教育関係者の養成が主な役割になっていると思いますが、社会人に対するの行事があってもよいのではないかと思います。70歳を超えるお達者会などの人たち向けの行事もよいのではないのでしょうか。レクリエーションの行事が主になるので、高齢者向けもいかがでしょうか。祖父母と孫向けもあるのかなと思います。
- 青少年活用を優先しながら、その他の年齢層にも利活用を促進されたい。
- 地域リーダーの養成。青少年にとどまらず、中高年をも対象とした活用を望みます。

- 子どもや孫を囲んで3世代4世代に渡る複数家族での宿泊（キャンプ）活動等提供の場として、広く県民が利用できる手立てを模索してほしいと思います。（安心且つ安全な県の施設内で、親類縁者が一堂に会して子ども達を中心とした活動を行い、キャンプファイヤーや星空を眺め自然に触れる中で親交を深められたら）
- 一般県民も福祉バスを利用して行けると嬉しい。特に高齢者のための催しを希望します。
- 次代を担う方々のために、人との関わり方、言葉の使い方等楽しく学びやすい多種多様なグループ活動を設けてはどうか。（時に大人向け、あるいは大人と青少年合同の活動の場の設定等）
- 小・中学校のPTA等を中心とした研修活動の実施
- 成人・高齢者に楽しむ機会が提供されることができ生涯学習のための施設
- 少子化に伴い、子供達の数が少ないので、高齢者の人たちも使用できるようになれば？家族単位、グループ単位でも宿泊できるようにもっとPRしてほしいと思う。
- 青少年社会教育施設だが、長寿・高齢化社会なので、高齢者に対する健康づくり・リーダー育成にも目を向けたらと思う。

施設の管理・運営に関するもの

- 街の中心部から遠く、車がなければ行けない（バスも便数が少ない）ので、一般の人には利用しにくい。
- 県主催の小・中・高生の大会があるときに、離島をはじめ遠方から来る生徒の無料（低料金）宿泊施設として提供しては。
- いつ行ってもきれいな施設であること（子どもはどこそこ触りますので）。授乳室、おむつ換え室、キッズスペース。いつでも気軽に行ける食堂があると尚よい。
- 施設がとても古くなっているので、新しくしてほしい。
- 子ども達が安心して自然にふれあえる場所であってほしい。
- 使い勝手がよい施設かどうかを事前に視察したいので、土日を開けてもらえたらありがたい。（事前予約制でも可）
- 暗いイメージ（建物）がある。施設全体のイメージアップも必要。
- 子供達が安心安全に使用でき、他の地域の子供達と仲良くなれる場になればよいと思う。
- 子供達が宿泊学習で利用したとき思ったのですが、寝袋は不衛生ではないでしょうか。毎回洗濯していただけるのでしょうか？
- 今まで同様、安心安全に利用できて、気軽に立ち寄れる所であってほしい。

その他

- 専門知識を持った人（資格とかではなく経験者）をもっと雇ってほしい。
- 昭和54年度、県下団体採用者の初任者研修が県立青少年研修センターで開催され、規律の中で過ごした2泊3日。以降「ごーよん会」として親睦を重ねていました。
- 子ども達が楽しそうに活動する様子を見られるので、又参加できるのがあれば、連れていきます。
- 子供が休みの日に宿泊を伴うイベントがあれば、施設を身近に感じます。敷居が高いです。
- まだ施設を利用したことがないので、スポーツレクリエーション活動や野外炊飯活動等してみたい。
- 社会教育施設は、青少年の自主性・協調性を培う場であり、人間形成、情操教育の最たるものであると考える。

- 現在，コロナ禍で様々な対応を求められ，日々大変なことと思う。個人で利用したり職場で利用したりと貴重な体験，思い出に残る体験，経験のできる大切な施設だと思っている。これからも様々なプログラムやイベントで，子供達（私たち大人も）の健やかな成長を支援できる場所であってほしいと思う。
- 徳之島にも施設の設置を。